

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆



実川たかし県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

地盤沈下防止対策で西朝

山武郡特集 6月県議会一般質問に登壇



成田空港周辺の地域活性化を政治課題に掲げ、山武郡選挙区から県議会に活躍の場を移した実川隆(じつかわ・たかし)県議は、6月定例議会の一般質問に登壇し、道路問題や地盤沈下対策など地域の課題を取り上げました。この中で、実川県議は今年度で期限切れとなる成田財特法の延長を強く要望し、国策に沿って協力してきた空港周辺地域の社会資本整備に対する理解を改めて訴えました。これに対し、森田知事も空港周辺の道路整備の重要性を認識しました。これを明らかにしました。地盤沈下対策など、実川県議の一般質問を特集します。

実川議員 県では、かん水を採取する天然ガス関係企業と「地盤沈下防止協定」を締結し、5年ごとに内容を見直し、地盤沈下の抑制に取り組んでいます。

この協定で、どの程度地盤沈下を抑えることができるので、ぜひ知りたいところです。そこで伺います。「地盤沈下防止協定」により、現在どのような対策が図られているのか。

実川議員 細目協定の期間を5年から2年に変更すべきと思うがどうか。

環境生活部長 地盤変動は、年により状況が異なり、協定の効果を把握し、見直し方針を検討するためには一定期間の地盤沈下の状況を把握する必要があること、細目協定の見直しに伴う新たな削減対策に期間を要することを考慮すると、改定

一般質問に登壇し、地盤沈下で対策を求める実川隆県議

解説結果踏まえ次期協定

実川議員 次期協定の改定に向けて、県はどのように取り組みを行っているのか。

環境生活部長 かん水の汲み上げによる地盤沈下を抑制するためには、引き続き県と関係企業との間で協定を締結していく必要があると考えています。

このため、昨年度はガス井戸ごとの汲み上げ量について、現況調査を実施した

ところであり、今年度は汲み上げ量と地盤沈下変動の関係等について、専門家の意見を聞きながら、解析することとしています。

今後、平成27年度の改定に向け、これらの解説結果を踏まえつつ、特に九十九里地域における地盤沈下の抑制が一層図られるよう、次期細目協定の目標や対策について検討してまいります。

特に、九十九里地域では、地盤沈下の一つであるかん水の汲み上げについて、地上排水量を1日あたり6千キロリットル削減するよう対策を講じているところです。

ける5年間の累計沈下量が5センチを超える地域をなくすこと――等を目標として、平成22年12月に関係企業との間で「地盤沈下の防止に関する細目協定」を締結しております。

また、今後、地盤沈下問題に伴う被害を未然に防止し、関係機関及び関係団体等と連携し、資源の有効利用を図るため実践的な取り組みをする必要がある。現在の10%しか地下に戻しておらず、大半を排出しているのが現状だ。地下還元井戸を掘りながら、地下に返すといった指導を行ってもらいたい。

●県政と山武郡に関するご相談・ご要望をお気軽に寄せください。

実川たかし 県議会議員事務所 TEL.0479-82-2688 FAX.0479-82-2799
〒289-1732 山武郡横芝光町横芝515

